



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月8日

上場会社名 イフジ産業株式会社 上場取引所 東・福  
コード番号 2924 URL <https://ifuji.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 宗徳  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 原 敬 (TEL) 092-938-4561  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	5,204	△25.6	795	6.7	800	4.2	545	△21.6
2024年3月期第1四半期	6,997	54.7	744	85.5	768	87.1	695	145.7

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 539百万円(△23.8%) 2024年3月期第1四半期 707百万円(144.4%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第1四半期	65	99	—	—
2024年3月期第1四半期	84	38	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	15,040	10,050	66.8
2024年3月期	14,636	9,693	66.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 10,050百万円 2024年3月期 9,693百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
2024年3月期	—	26.00	—	22.00	48.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	26.00	—	25.00	51.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 配当予想については、本日(2024年8月8日)公表しました「第2四半期累計期間業績予想の修正及び中間配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	10,299	△21.9	1,341	10.0	1,350	8.2	921	△10.4	111	38
通期	20,582	△16.0	1,979	12.1	1,975	9.2	1,367	△14.4	165	60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 業績予想については、本日(2024年8月8日)公表しました「第2四半期累計期間業績予想の修正及び中間配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	8,345,370株	2024年3月期	8,345,370株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	82,951株	2024年3月期	82,801株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	8,262,466株	2024年3月期1Q	8,243,783株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(収益認識関係)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善傾向にあるものの、円安やインフレによる物価の上昇や可処分所得の減少、不安定な中東情勢及び中国経済の先行き懸念に伴う海外景気の減速懸念等により、景気の先行きには注視が必要な状況にあります。

食品業界におきましても、円安や人件費高騰の影響等により原材料価格や製商品価格の値上げが続いております。鶏卵業界では、鳥インフルエンザの影響による供給不足は解消されたものの、生産コストの上昇や鶏卵の需要の減少、また鶏卵の増産を促す畜産クラスター事業や抑制を促す成鶏更新・空舎延長事業等の政府の補助金政策もあり、鶏卵相場は引き続き不安定な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結売上高につきましては、鶏卵相場が大幅に低下し、連動する販売単価も大幅に低下したため、前年同期比25.6%減の5,204百万円となりました。一方で、販売数量は前年同期比9.3%増となり、第1四半期累計期間としては過去最高となりました。

損益につきましては、液卵関連事業において原料仕入価格が低下したこと等により、連結営業利益は同6.7%増の795百万円、連結経常利益は同4.2%増の800百万円となり、いずれも第1四半期累計期間において4期連続の増益となり当該期間として過去最高益を更新いたしました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第1四半期連結累計期間において役員退職慰労金の支給により課税所得が減少し法人税等が低く抑えられた影響が当第1四半期連結累計期間では無くなったことから、同21.6%減の545百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①液卵関連事業

当セグメントにおきましては、鶏卵相場に連動する商品が多いため、売上高及び仕入高が鶏卵相場に連動する傾向にあります。そのため、販売単価と仕入単価の差益を一定額以上確保すること及び販売数量を確保することにより利益が最大になるように努めております。

当セグメントにおける売上の指標である販売数量につきましては、前年同期比9.3%増となりました。これは主に、得意先において鳥インフルエンザの影響に伴う鶏卵の供給不足により減少していた卵の使用量が回復したことや、供給不足時に当社が安定供給したことが評価され、当社の液卵販売数量が増加したこと、また新規顧客との取引が増加したこと等によるものであります。

売上高につきましては、販売数量は増加したものの、鶏卵相場（全農東京Mサイズ基準値）が前年同期比40.6%減（135円/kg減）と大幅に低下したことに伴い、連動する液卵の販売単価も大幅に低下しました。その結果、液卵売上高は前年同期比28.3%減の4,593百万円となりました。また、加工品売上高は、ゆで卵の販売増等により同6.0%増の229百万円、その他売上高は同2.6%増の75百万円となりました。この結果、当セグメント合計の売上高は同26.8%減の4,898百万円となりました。

セグメント利益につきましては、製品在庫の増加に伴う保管料の増加や販売数量増に伴う運賃の増加等があったものの、鶏卵相場に連動して原料仕入単価が大幅に低下したこと等により、前年同期比6.8%増の761百万円となりました。

#### ②調味料関連事業

当セグメントの売上高につきましては、当社グループ内での卵白プロテインの委託加工等の販売が減少したこと等により、前年同期比3.5%減の319百万円となりました。

セグメント利益につきましては、本社機能を千葉工場に統合したことによる地代家賃の減少等により同6.7%増の29百万円となりました。

#### ③その他

当セグメントは太陽光発電であり、売上高は前年同期比6.6%減の6百万円となり、セグメント利益は同6.3%減の4百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は15,040百万円となり、前連結会計年度末に比べ403百万円増加しました。

流動資産は9,789百万円となり、前連結会計年度末に比べ360百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加789百万円、商品及び製品の減少123百万円、原材料及び貯蔵品の減少116百万円、受取手形及び売掛金の減少137百万円等によるものであります。

固定資産は5,250百万円となり、前連結会計年度末に比べ43百万円増加しました。主な要因は、機械装置及び運搬具の増加255百万円、有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定の減少108百万円、繰延税金資産の減少79百万円等によるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は4,989百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円増加しました。

流動負債は4,625百万円となり、前連結会計年度末に比べ99百万円増加しました。主な要因は、流動負債のその他の増加355百万円、賞与引当金の減少145百万円、短期借入金の減少50百万円等によるものであります。

固定負債は363百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少53百万円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は10,050百万円となり、前連結会計年度末に比べ357百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益545百万円の計上及び配当金181百万円の支払により利益剰余金が363百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、純資産合計は初めて10,000百万円超となり、自己資本比率は66.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績の状況及び今後の見通し等を勘案し、2024年5月7日に公表いたしました2025年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想を修正しております。なお、通期の連結業績予想につきましては、液卵関連事業における販売数量が好調に推移すると予想しているものの、鶏卵相場動向の不確実性や、2024年7月31日付でHORIZON FARMS株式会社の株式を取得し同社が連結子会社となり、今後の連結業績にどの程度の影響があるか算定が必要になることから修正しておりません。

詳細につきましては、本日(2024年8月8日)公表の「第2四半期累計期間業績予想の修正及び中間配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。今後開示すべき事項が発生した場合は速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,150	3,939
受取手形及び売掛金	3,399	3,261
商品及び製品	2,263	2,139
仕掛品	52	61
原材料及び貯蔵品	436	319
その他	138	77
貸倒引当金	△11	△10
流動資産合計	9,429	9,789
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,786	1,770
機械装置及び運搬具(純額)	1,009	1,264
土地	1,857	1,857
リース資産(純額)	5	4
その他(純額)	163	55
有形固定資産合計	4,821	4,952
無形固定資産		
投資その他の資産	5	7
投資有価証券	181	173
繰延税金資産	182	102
その他	17	16
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	380	291
固定資産合計	5,207	5,250
資産合計	14,636	15,040
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,091	1,070
短期借入金	2,197	2,146
リース債務	1	1
未払法人税等	214	167
賞与引当金	193	47
役員賞与引当金	—	7
その他	828	1,183
流動負債合計	4,525	4,625
固定負債		
長期借入金	329	276
リース債務	4	3
その他	83	83
固定負債合計	417	363
負債合計	4,943	4,989
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	400	400
利益剰余金	8,817	9,180
自己株式	△53	△54
株主資本合計	9,619	9,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73	67
その他の包括利益累計額合計	73	67
純資産合計	9,693	10,050
負債純資産合計	14,636	15,040

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	6,997	5,204
売上原価	5,695	3,770
売上総利益	1,302	1,433
販売費及び一般管理費	557	638
営業利益	744	795
営業外収益		
受取利息	—	0
受取配当金	0	0
受取保険金	9	0
受取賃貸料	6	4
その他	9	2
営業外収益合計	25	8
営業外費用		
支払利息	1	3
営業外費用合計	1	3
経常利益	768	800
特別損失		
固定資産除売却損	—	19
特別損失合計	—	19
税金等調整前四半期純利益	768	781
法人税、住民税及び事業税	46	153
法人税等調整額	26	82
法人税等合計	72	235
四半期純利益	695	545
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	695	545

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	695	545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	△6
その他の包括利益合計	12	△6
四半期包括利益	707	539
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	707	539
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	液卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,693	296	6,990	6	6,997
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	34	34	—	34
計	6,693	331	7,024	6	7,031
セグメント利益	712	27	740	4	744

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	液卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,894	303	5,198	6	5,204
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	15	19	—	19
計	4,898	319	5,217	6	5,224
セグメント利益	761	29	791	4	795

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	108百万円	106百万円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	液卵関連事業	調味料関連事業	計		
液卵	5,258	—	5,258	—	5,258
凍結卵	1,145	—	1,145	—	1,145
卵加工品	216	—	216	—	216
その他鶏卵関連	73	—	73	—	73
調味料	—	296	296	—	296
その他	—	—	—	6	6
顧客との契約から生じる収益	6,693	296	6,990	6	6,997
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	6,693	296	6,990	6	6,997

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	液卵関連事業	調味料関連事業	計		
液卵	3,596	—	3,596	—	3,596
凍結卵	997	—	997	—	997
卵加工品	225	—	225	—	225
その他鶏卵関連	75	—	75	—	75
調味料	—	303	303	—	303
その他	—	—	—	6	6
顧客との契約から生じる収益	4,894	303	5,198	6	5,204
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,894	303	5,198	6	5,204

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

## (重要な後発事象)

## (株式取得による子会社化)

2024年7月31日にHORIZON FARMS株式会社の株式を取得いたしました。

## (1) 株式取得の目的

当社グループは既存事業の強化に注力しながら、M&Aの活用により事業領域の拡大や企業価値向上に取り組んでおります。

HORIZON FARMS株式会社は、「Good Farms, Better Food」(良質な食品は、健全な農家から)をコンセプトに、アニマルウェルフェアに配慮し完全放牧で健康的に育てられた肉を中心としたオーガニック、無添加、オールナチュラルの食品のみを世界中の小規模農場から厳選して輸入し、自社ECサイトを中心とした販売を通じて、健康志向でエシカル感度の高いお客様に新しい食の選択肢を提供しております。

オーガニック食品、ECの分野は今後も成長が見込まれる分野であり、液卵関連事業、調味料関連事業に続く新たな事業の柱として、事業領域を拡大してまいります。

また、HORIZON FARMS株式会社の持つECに関する高いノウハウを活かし、当社の既存EC販売とのシナジーを発揮することで当社グループの更なる企業価値向上につながると考えております。

## (2) 株式取得の相手会社の名称

被取得企業の経営者及びその他の株主

## (3) 買収する相手会社の名称、事業内容、規模

① 名称	HORIZON FARMS株式会社
② 所在地	愛知県名古屋市熱田区六野一丁目3-6
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 トゥーメ サム (Sam Tumeh)
④ 事業内容	オーガニック及びオールナチュラル食品の加工及び仕入販売
⑤ 2024年5月期の財政状態及び経営成績	
資本金	26百万円
純資産	79百万円
総資産	373百万円
売上高	727百万円
営業利益	28百万円
経常利益	29百万円
当期純利益	20百万円

## (4) 株式取得の時期

2024年7月31日

## (5) 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

① 異動前の所有株式数	なし
② 取得株式数	普通株式48株(議決権の数48個)
③ 取得価額	633百万円(取得関連費用41百万円含む。)
(注) 条件付取得対価契約が含まれており、取得の対価に一定の調整が行われる可能性があります。	
④ 異動後の所有株式数	普通株式48株(議決権の数48個 議決権所有割合100%)

## (6) 支払資金の調達方法及び支払方法

取得資金につきましては、自己資金及び借入金により支払っております。